

4 施工

Q-38 屋根やスロープ部など勾配スラブにフラットデッキを敷く場合の納まりおよび安全対策について教えてほしい。

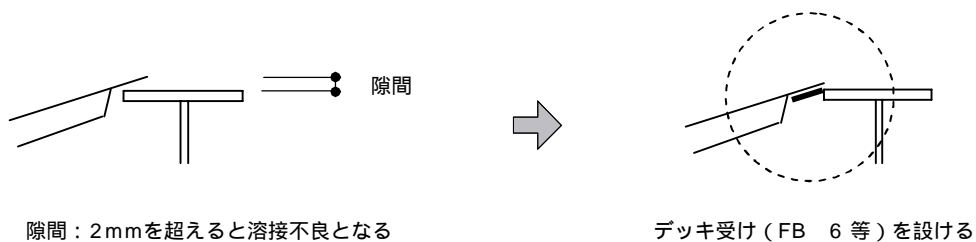
A

〔納まり〕

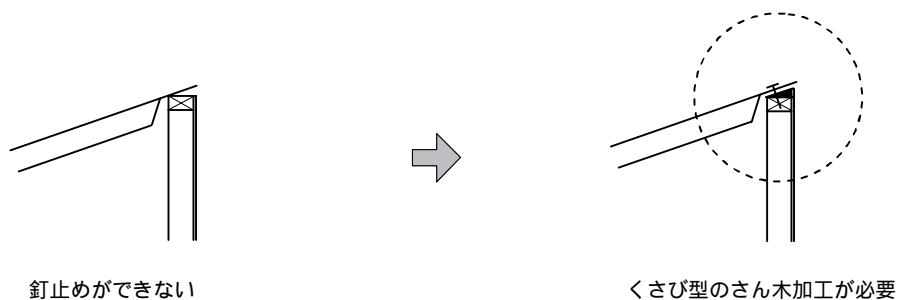
フラットデッキ端部は梁側デッキ掛かり部と確実に接合する必要があります。

フラットデッキ掛かり部が水平でフラットデッキが傾斜していると掛かり代の部分で隙間が生じ、その隙間が大きくなると接合上好ましくないため、フラットデッキ勾配角度に合わせた掛かり部の形成処置（下図参照）が必要となります。

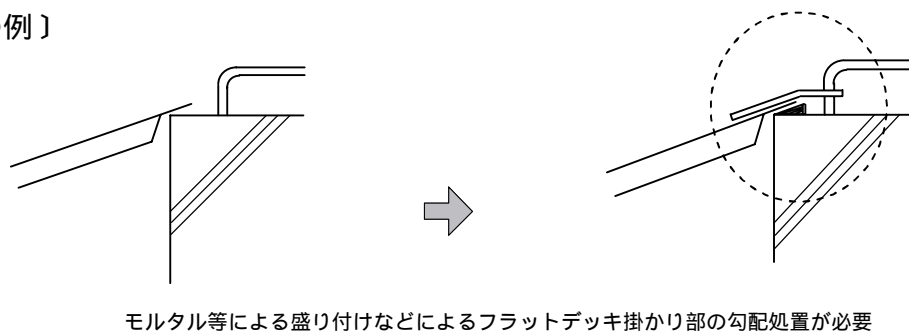
〔S梁の例〕



〔型枠の例〕



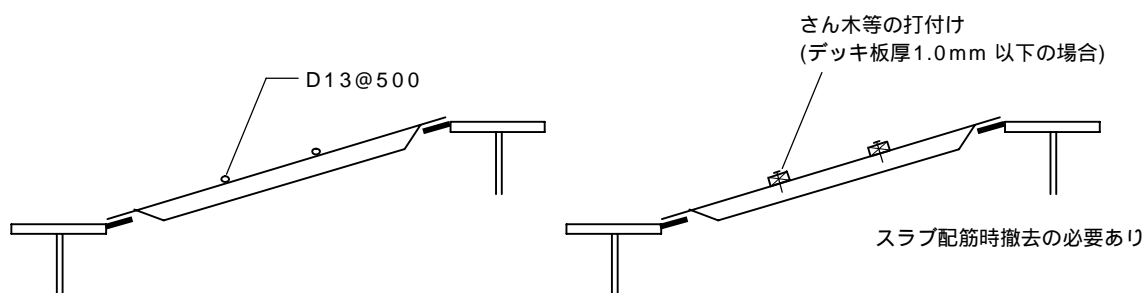
〔置きスラブの例〕



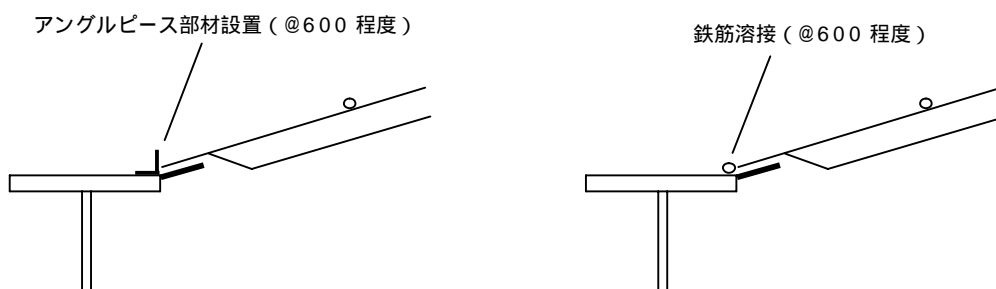
〔安全対策〕

フラットデッキは上面（平板部）の剛性を高めるためにエンボス加工や折り曲げ加工を施していますが、屋根部やスロープ部等の勾配の大きなスラブにおいては、施工中フラットデッキ上での歩行時の事故防止やフラットデッキ自体のズレによる落下防止のため、下図の例のようなデッキ上面への滑り止め処置やフラットデッキのズレ防止処置を施して下さい。

〔滑り止め処置例〕



〔フラットデッキ ズレ・落下防止処置例〕



また敷き込み方向が勾配となる場合は、安全上、下側から上側へ向かって敷き込む施工（割付）とする。

